別紙
タグ構造定義書
（登記識別情報関係様式編）

要素構造一覧	システム名	業務名	手続名	作成者	作成日	更新者	更新日
	申請サブシステム	登記識別情報関係様式	登記識別情報提供様式	法務省	2010年1月	法務省	2023年11月

No.	要 素 名 （TAG名）	属性	繰返（最大）	既定値	入力チェック									備　　考	tooltip
					要否	固有	形式	桁数	範囲	既定値	必須	漢字挿入	字形変更	改行	
1	添付書類	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
2	書類区分	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
3	業務区分	－	1	不動産	要	添付書類様式で固定（不動産）	－	－	－	要	要	不可	－	－	
4	書類名区分	－	1	登記識別情報提供書	要	添付書類様式で固定	－	－	－	要	要	不可	－	－	
5	識別情報提供情報	Id="DIG"	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
6	作成年月日	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
7	年月日	－	1	－	要	－	文字（全角）	－	－	－	要	不可	要	－	
8	登記の目的	－	1	－	要	－	文字（全角）	－	－	－	－	可	要	－	
9	権利者	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
10	氏名	－	1	－	要	－	文字（全角）	－	－	－	－	可	要	－	複数権利者を指定する場合は半角カンマ区切りにて氏名を列挙する
11	物件特定情報	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
12	物件種別	－	1	土地｜建物	要	物件指定方法が所在の場合のみ必須	文字（全角）	8 最大	－	要	←	不可	－	－	
13	物件状態	－	1	既存｜閉鎖	要	－	文字（全角）	8 最大	－	要	要	不可	－	－	
14	物件指定	－	1	所在｜ 不動産番号	要	－	文字（全角）	－	－	要	要	不可	－	－	
15	地番区域情報	－	1	－	要	物件指定方法が所在の場合のみ必須	文字（全角）	60 最大	－	－	←	可	要	－	
16	地番家屋番号情報	－	1	－	要	物件指定方法が所在の場合のみ必須	文字（全角）	30 最大	－	－	←	不可	要	－	
17	不動産番号	－	1	－	要	物件指定方法が不動産番号の場合のみ必須	数値（半角）	13 固定	－	－	←	不可	－	－	
18	閉鎖年月日	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
19	年月日	－	1	－	要	－	文字（全角）	－	－	－	－	不可	要	－	物件状態が閉鎖の場合のみ入力可 外字入力不可 例：令和1年5月1日
20	識別情報対象情報	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
21	登記名義人	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
22	名義人情報	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
23	住	－	1	－	要	－	文字（全角）	－	－	－	要	可	要	－	
24	氏	－	1	－	要	－	文字（全角）	－	－	－	要	可	要	－	
25	生	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	**未使用**

要素構造一覧	システム名	業務名	手続名	作成者	作成日	更新者	更新日
	申請サブシステム	登記識別情報関係様式	登記識別情報提供様式	法務省	2010年1月	法務省	2023年11月

No.	要 素 名 （TAG名）	属性	繰返（最大）	既定値	入力チェック									備　　考	tooltip
					要否	固有	形式	桁数	範囲	既定値	必須	漢字挿入	字形変更	改行	
26	受付情報	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
27	用紙区分	－	1	甲区｜乙区	要	－	文字（全角）	－	－	要	要	不可	－	－	
28	番号指定方法	－	1	受付番号｜順位番号	要		文字（全角）	－	－	要	要	不可	－	－	番号指定方法を設定
29	受付年月日	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
30	年月日	－	1	－	要	番号指定方法が受付番号の場合のみ必須	文字（全角）	－	－	－	←	不可	要	－	
31	受付番号情報	－	1	－	－		－	－	－	－	－	－	－	－	
32	本番	－	1	－	要	番号指定方法が受付番号の場合のみ必須	数値（半角）	－	－	－	←	不可	－	－	
33	枝番	－	1	－	要	－	数値（半角）	－	－	－	－	不可	－	－	
34	同順位符号	－	1	－	－	－	文字（全角）	－	－	－	－	不可	－	－	
35	順位番号情報	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
36	順位番号	－	1	－	－	番号指定方法が順位番号の場合のみ必須	文字（全角）	－	－	－	←	不可	－	－	
37	二次元バーコード格納情報有無	－	1	有り｜無し	要	－	文字（全角）	2固定	－	要	要	不可	－	－	「QRコード読み込み」又は「登記識別情報通知読み込み」を行った場合に「有り」，ユーザがQRコード読込後に内容を編集した場合は「無し」を設定する ※QRコード内に情報のない「物件状態」、「閉鎖
38	暗号化情報	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
39	登記識別情報	－	1	－	要	－	文字（半角）	－	－	－	要	不可	－	－	暗号化／Base64テキスト化 12桁を暗号化/Base64テキスト化した値を設定すること
40	二次元バーコード格納情報	－	1	－	要	二次元バーコード格納情報有無が有りの場合のみ必須，無しの場合は当該項目が未入力であることをチェックする	文字（半角）	－	－	－	←	不可	－	－	暗号化／Base64テキスト化 二次元バーコードを読み込んだ際に取得される62桁の半角英数字を暗号化/Base64テキスト化した値を設定すること
41	登記識別情報提供様式情報	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
42	テンプレートバージョン	－	1	－	要	－	数字（半角）	1～3	1～999	－	要	不可	－	－	様式のバージョン
43	制御情報	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	**未使用** **※1.0Eが設定されていた場合は、申請後、中止／却下となるため注意すること**
44	プログラムバージョン	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
45	「署名関連情報」部分は省略	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	

要素構造一覧	システム名	業務名	手続名	作成者	作成日	更新者	更新日
	申請サブシステム	登記識別情報関係様式	登記識別情報通知取得用届出様式	法務省	2010年1月		

No.	要 素 名 （TAG名）	属性	繰返 (最大)	既定値	入力チェック									備　　考	tooltip
					要否	固有	形式	桁数	範囲	既定値	必須	漢字挿入	字形変更	改行	
1	添付書類	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
2	書類区分	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
3	業務区分	－	1	不動産	要	添付書類様式で固定（不動産）	－	－	－	要	要	不可	－	－	
4	書類名	－	1	登記識別情報要求書	要	添付書類様式で固定	－	－	－	要	要	不可	－	－	
5	識別情報要求情報	Id=″DIG″	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
6	作成年月日	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
7	年月日	－	1	－	要	－	文字（全角）	－	－	－	要	不可	要	－	
8	権利者	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
9	名義人情報	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
10	住	－	1	－	要	－	文字（全角）	－	－	－	要	可	要	－	
11	氏	－	1	－	要	－	文字（全角）	－	－	－	要	可	要	－	
12	生	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	**未使用**
13	申請物件情報	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
14	公開鍵情報	－	1	－	要	－	文字（半角）	－	－	－	要	不可	－	－	
15	制御情報	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	**未使用**
16	プログラムバージョン	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	**※1.0Eが設定されていた場合は、申請後、中止／却下となるため注意すること**
17	「署名関連情報」を参照	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	

要素構造一覧	システム名	業務名	手続名	作成者	作成日	更新者	更新日
	申請サブシステム	登記識別情報関係様式	取得者特定ファイル	法務省	2010年1月		

No.	要 素 名 （TAG名）	属性	繰返 (最大)	既定値	入力チェック									備　　考	tooltip
					要否	固有	形式	桁数	範囲	既定値	必須	漢字挿入	字形変更	改行	
1	権利者特定情報	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
2	作成年月日	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
3	年月日	－	1	－	要	－	文字 (全角)	－	－	－	要	不可	要	－	
4	時分秒	－	1	－	要	－	数値 (半角)	6 固定	－	－	要	不可	要	－	
5	権利者	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
6	名義人情報	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
7	住	－	1	－	要	－	文字 (全角)	－	－	－	要	可	要	－	
8	氏	－	1	－	要	－	文字 (全角)	－	－	－	要	可	要	－	
9	生	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	**未使用**
10	権利者識別情報	－	1	－	要	－	－	－	－	－	要	不可	－	－	暗号化／Base64テキスト化
11	制御情報	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	**未使用**
12	プログラムバージョン	－	1	－	要	－	文字 (全角)	－	－	－	要	－	－	－	**※1.0Eが設定されていた場合は、申請後、中止／却下となるため注意すること**

要素構造一覧	システム名	業務名	手続名	作成者	作成日	更新者	更新日
	申請サブシステム	登記識別情報関係様式	登記識別情報通知ファイル	法務省	2010年1月		

No.	要 素 名 （TAG名）	属性	繰返 (最大)	既定値	入力チェック									備　　考	tooltip
					要否	固有	形式	桁数	範囲	既定値	必須	字形変更	改行		
1	登記識別情報情報	―	1	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―		
2	通知書情報	―	1,n	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―		
3	ファイル名	―	1	―	要	―	―	―	―	―	要	―	―		
4	登記識別情報	―	1	―	要	―	―	―	―	―	要	―	―	暗号化／Base64テキスト化	
5	二次元バーコード関係情報	―	0,1	―	要	―	―	―	―	―	要	―	―	平成27年2月23日以降に発行された登記識別情報通知には当要素が追加される。	
6	不動産番号	―	1	―	要	―	数字（半角）	13固定	―	―	要	―	―		
7	用紙区分	―	1	-	要	―	数字（半角）	1固定	1～2	―	要	―	―		
8	受年受番順位番号情報	―	1	―	要		数字（半角）	17固定	―	―	要	―	―	受年受番，又は順位番号のどちらかが設定される。	
9	同順位符号	―	1	―	要	―	数字（半角）	3固定	000～217	―	要	―	―		
10	名義人項目	―	1	―	要	―	数字（半角）	2固定	01～27	―	要	―	―		
11	出現順シーケンス	―	1	―	要	―	数字（半角）	7固定	―	―	要	―	―		
12	登記事項番号	―	1	―	要	―	数字（半角）	7固定	―	―	要	―	―		
13	二次元バーコードビット情報	―	1	―	要	―	-	―	―	―	要	―	―	暗号化／Base64テキスト化	
14	コードの大きさ	―	1	-	要	―	数字（半角）	4固定	―	-	要	―	―		
15	モジュールの幅	―	1	-	要	―	数字（半角）	4固定	―	-	要	―	―		
16	画素密度	―	1	-	要	―	数字（半角）	4固定	―	-	要	―	―		
17	帳票レイアウトのバージョン	―	1	-	要	―	数字（半角）	2固定	―	-	要	―	―		

要素構造一覧	システム名	業務名	手続名	作成者	作成日	更新者	更新日
	申請サブシステム	登記識別情報関係様式	署名関連情報	法務省	2010年1月		

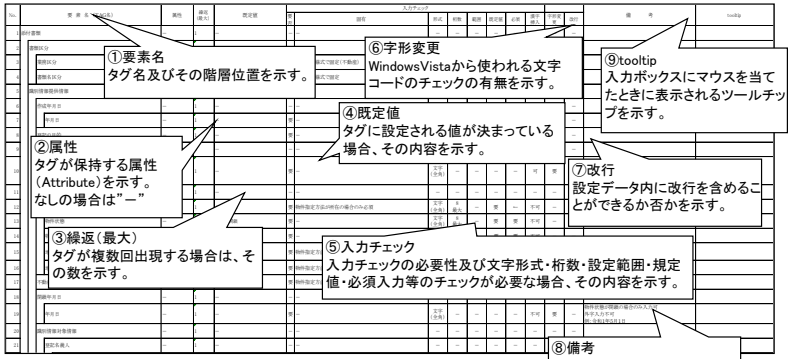
No.	要 素 名 （TAG名）	属性	繰返（最大）	既定値	入力チェック								備　　考	備　　考
					要否	固有	形式	桁数	範囲	既定値	必須	字形変更	改行	
1	Signature	Id,xmlns	1	－	－	－	－	－	－	－	－		－	
2	SignedInfo	xmlns	1											
3	CanonicalizationMethod	Algorithm	1											
4	SignatureMethod	Algorithm	1											
5	Reference	URI=″#DIG″	1											
6	Transforms		1											
7	Transform	Algorithm	1											
8	DigestMethod	Algorithm	1											
9	DigestValue		1											
10	SignatureValue		1											
11	KeyInfo		1											
12	X509Data		1											
13	X509Certificate		1											

W3C XML DSIGに規定する署名情報を設定する。

1. 補足資料

※ 登記申請書と登記嘱託書については、タグ構成については同一となるため
同一ページにて記述している。

申請書方式要素構造の記述形式



① 要素名(タグ名)

申請書様式内に設定すべきタグ名を示す。記述上の階層は、そのまま要素の親子関係を示す。

② 属性

タグが属性(Attribute)を保持する場合は、その設定すべき属性名を示す。設定内容については備考に記述する。

例:

属性	・・・・	備考
物件SEQ		属性「物件SEQ」は申請物件単位のSEQを自動発番

となっていた場合は、該当のタグの出現順にシーケンス番号を振り、
"物件SEQ=(シーケンス番号)"というAttribute設定を行うことを示す。

③ 繰返(最大)

タグが複数回出現する可能性がある場合、その繰返し最大数を示す。最大数が不確定の場合、nで示す。また、固定で1度だけ出現する場合は、"ー"で示す。

例:

要素名(TAG名)	…	繰返(最大)	…	
設定項目1		ー		固定で1度だけ出現することを示す。
設定項目2		0,1		タグが存在しないか、1度だけ出現することを示す。
設定項目3		n		複数回制限なく出現することを示す。

④ 既定値

タグに設定される内容が特定の値である場合、その設定内容を示す。

例:

既定値	…	
商業 | 不動産		"商業"または"不動産"という文字列が設定されることを示す。
受付		"受付"という文字列が固定で設定されることを示す。
経由 | △		"経由"という文字列または未設定となることを示す。

⑤ 入力チェック

1) 要否

設定されたデータのチェックが必要か否かを示す。チェックが必要な場合”要”、不要な場合”－”で示す。

2) 固有

以下に示す形式・桁数・範囲・既定値・入力必須の各チェック以外のチェックを行う場合、そのチェック内容を示す。

例:

固有	…
申請書様式で固定（不動産）		”不動産”という文字列が固定で設定されること。

3) 形式

入力データの形式を示す。規定するデータ形式は、全角・半角，文字・数値とする。
（文字・数値の場合は、半角の場合のみ）

例:

形式	…	
－		データ形式のチェックを行わないことを示す。
全角		全角文字が設定されること。
文字		半角文字が設定されること。
数値		半角数値が設定されること。

4) 桁数

入力データの形式が「3)形式」で示す”数値”の場合、その桁数チェックを行う場合、その桁数を示す。

例:

形式	桁数	…	
－	－		桁数チェックを行わないことを示す。
数値	4（固定）		設定される数値が、4桁であること。
数値	2～6		設定される数値が、2桁～6桁の間であること。

5) 範囲

入力データの形式が「3)形式」で示す”数値”の場合やその値が一定の範囲内であるか否かのチェックを行う場合、その値の範囲を示す。

例:

形式	…	範囲	…	
－		－		範囲チェックを行わないことを示す。
数値		1～99		設定される数値が、1～99の範囲内であること。

6) 既定値

入力データが④既定値の値であることをチェックするか否かを示す。チェックが必要な場合”要”、不要な場合”－”で示す。

例:

既定値	…	既定値	…	
－		－		既定値チェックを行わないことを示す。
商業｜不動産		要		設定される値が”商業”または”不動産”であること。

7) 必須

必須入力のタグであり、データの入力チェックを行うか否かを示す。チェックが必要な場合”要”不要な場合”－”で示す。

8) 漢字挿入

漢字文字画像検索機能により漢字文字画像ファイルが挿入可能か否かを示す。
可：挿入可能項目　不可：挿入不可項目　－：対象外項目

⑥ 字形変更

Windows Vista以降使われるJIS2004文字コードチェックを示す。チェックが必要な場合は”要”、不要な場合は”－”で示す。

⑦ 改行

本項目のデータが改行可能なデータであることを示す。

⑧ 備考

その他の補足すべき事項を示す。

⑨ tooltip

入力ボックスにマウスを当てたときに表示されるツールチップを示す。

2. 入力チェックのエラー表示について

各様式のXMLは入力の際、XSLT変換されHTML形式で表示される。
出力されたHTML内に値を入力し、「チェック」ボタンを押下することで入力値に誤りがあるかどうかチェックできる。誤りがあった場合はHTML内と入力エリアのツールチップに入力規則に従ったメッセージが表示される。

エラーメッセージの内容は各タグに設定される入力チェックの内容により決定される。
入力チェックの内容は各様式構造を参照のこと。
以下に入力チェックの内容に違反した場合のエラーメッセージを示す。

違反したチェック項目

		メッセージ
固有		選択値以外です
形式	文字(全角)	全角以外の文字を含んでいます
	数字(半角)	数字ではありません
桁数		桁数オーバーです
範囲	最大値以上	最大値を超えています
	最小値未満	最小値を満たしていません
規定値		選択値以外です
必須		必須項目未設定です

3. 申請用総合ソフトの非互換文字チェック機能概要

1. 機能概要

申請書の保存時において、非互換文字のチェック機能を追加する。申請書の入力内容に非互換文字が含まれている場合は、確認画面を表示する機能を追加する。この機能を非互換文字チェック機能という。
本機能は、Windows Vista上で申請用総合ソフトを起動させている場合のみ動作する。

2. 機能詳細

(1)処理の流れ
非互換文字チェック処理は、登記申請書編集画面の「終了」ボタン押下時に動作する。以下に処理の流れを示す。なお、当該機能以外の説明は省略する。

①申請者の操作により、登記申請書編集画面の下部メニューより「終了」ボタンを押下し、申請書の編集終了を指示する。
申請用総合ソフトは、編集終了処理を起動し、非互換文字チェック機能を実行する。

②申請用総合ソフトは、非互換文字チェック機能を起動する。
非互換文字チェック機能の実行結果より、処理を分岐する。

・各入力項目の入力内容に非互換文字を含む場合→③へすすむ
・各入力項目の入力内容に非互換文字を含まない場合→④へすすむ

③申請用総合ソフトは、非互換文字の内容を画面表示する。
(この画面を非互換文字確認画面という)
・非互換文字確認画面において、利用者が保存処理の継続を指示した場合→④へすすむ
・非互換文字確認画面において、利用者が申請書の再編集を指示した場合
→編集終了処理を中断し、登記申請書編集画面へ遷移する。

④非互換文字チェック機能を終了し、他の編集終了処理を行う。